

3つの柱

- ①「知識及び技能の基礎」
- ②「思考力、判断力、表現力等の基礎」
- ③学びに向かう力、人間性等」

幼児期の終わりまでに育てたい10の姿

- 1.健康な心と体
- 2.自立心
- 3.共同性
- 4.道徳性・規範意識の芽生え
- 5.社会生活とのかかわり
- 6.思考力の芽生え
- 7.自然との関わり・生命尊重
- 8.数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚
- 9.言葉による伝え合い
- 10.豊かな感性と表現



協同性：友達と協力して「木に果実や木の実を作る」

互いの思いや考えなどを共有し、共通の目的の実現に向けて、考えたり、工夫したり、協力したりし、充実感を持ってやり遂げる様になる。